

昨年コロナ禍のため開催を断念したりサイタルの振替公演をついに開催する運びとなりました。今回のテーマは「クラシックから現代へつながる絆」です。西洋クラシック音楽における名音楽家たちの作品を敬愛する、現代に生きる音楽家たち。古き良きものを大事にしながら、それを生かして新しいものを作り上げていく姿勢が、私はとても好きです。マリimbaは新しい楽器なので、レパートリーの殆どが現代曲です。しかし現代音楽の響きの中に、やはり西洋クラシック音楽が見え隠れします。素敵な絆が刻まれている音楽を、お話も交えてお届け致します。ご来場を心よりお待ちしております。



マリimba 沓野 勢津子 Setsuko Kutsuno

2007年京都市立芸術大学音楽学部を首席で卒業。卒業に際し音楽学部賞・京都音楽協会賞を受賞。(公財)ロームミュージックファンデーションの奨学生としてアメリカ・ボストン音楽院に3年間留学。現在札幌市在住。

2009年イタリア国際打楽器コンクールマリimba部門第1位受賞。2010年米国南カリフォルニアマリimbaコンクール優勝。2013・2014年札幌市民芸術祭奨励賞受賞。第31回日本管打楽器コンクールマリimba部門第1位および文部科学大臣賞・東京都知事賞を受賞。平成30年度第28回道銀芸術文化奨励賞(音楽部門)受賞。2012年沓野勢津子ソロCD「子供の領分」をリリース。NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」にマリimbaソロで出演。東京シティフィル管弦楽団、札幌交響楽団とソリストとしてマリimba協奏曲を共演。京都市立芸術大学音楽学部非常勤講師、札幌大谷大学芸術学部音楽学科非常勤講師、ドルチェ音楽教室講師、マリimbaメーカー「こおろぎ社」アーティスト。



ピアノ 田島 ゆみ Yumi Tajima

ドイツ、フライブルク国立音楽大学大学院卒業。ドイツを中心にヨーロッパ各地でピアノデュオ、室内楽の演奏、並びにドイツ各地での音楽祭に参加。現地の音楽学校や自宅教室にて後進の指導も務める。11年半のドイツ滞在の後、2014年日本に完全帰国し、札幌市在住。札幌交響楽団の首席奏者たちとの共演をはじめ、CD録音、PMFや様々な室内楽コンサートに出演。2017年4月より札幌大谷大学非常勤講師。

2006年フライブルクにて音楽大学委員会コンクール・ピアノトリオ部門第一位。イタリア、シエナ市のキジアーナ音楽アカデミーにて研鑽を積む。キジアーナ・ディプロマ賞受賞。A.クライン、F.ゴットリーブの各氏に師事。H.ライグラフ、V.トロップ、J.ヴァイトマン、R.クスマウルら、多くの音楽家から薫陶を受けている。



ヴィブラフォン 細江 真弓 Mayumi Hosoe

京都市立芸術大学音楽学部卒業。同大学大学院修了。小澤征爾音楽塾オペラプロジェクト、同音楽塾オーケストラプロジェクトに参加。サイトウキネンフェスティバル(現セイジオザワ松本フェスティバル)に音楽塾メンバーとして参加。

これまでに打楽器を山本毅、伊藤朱美子、種谷睦子の各氏に師事。

関西フィルハーモニー管弦楽団を経て、2019年10月より札幌交響楽団打楽器奏者。マジェスティック・パーカッション・アーティスト。